

神様は乗り越えられない 試練は与えない

水泳の池江璃花子選手が去る2月12日、自身のTwitterで、『白血病』という診断を受けたこと、日本選手権の出場を断念せざるを得ないこと、を公表しました。翌13日には「率直な気持ちをお伝えしたくて」「神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁は

ないと思っています。」と記しています。

日本水泳連盟と所属するルネサンスも2月13日に記者会見を開きました。「早期発見で本人は前向き」「お話しできるのは白血病ということだけ」「東京五輪に向けた復帰時期については、医師と相談の上、今後の治療経過を見ながらの判断に



パンパシ水泳2018で女子100メートルバタフライを日本新記録で優勝

なる。」ということが明かされました。

あれから1ヶ月以上、ようやく池江選手のTwitterが更新されました。



思ってたより、数十倍、数百倍、数千倍しんどいです。

三日間以上ご飯も食べれてない日が続いています。

でも負けたくない

投稿時刻は2019年3月6日午前1時1分。入院しているなら病院の消灯時刻をとうに過ぎている時刻。治療の副作用がつかなくて眠れぬ深夜に投稿したのでしょう。普段なら気の利いた言葉で投稿されているのに、数行投稿するのがやっと。苦しいのは本格的な治療が始まっているから、いつまで続くかも、ある程度はわかるから、今は耐えてください、としかいいようがありません。

しかし皆、池江選手の投稿を待っていました。投稿から24時間余りで57,529件の「リツイート」、374,304件の「いいね」。最初の病名公表のツイートには1ヵ月余りで56万余の「いいね」でしたから、1日で倍以上です。

白血病は「血液のがん」といわれ、厳しく難しい病気ですが、治療費助成のある特定疾患（いわゆる難病）には指定されていません。つまり治る病気です。

骨髄性なのか、リンパ性なのか、他の種類の白血病なのか、復帰は東京オリンピックに間に合うのか、どこの病院に入院しているのかなどと、ネット上で憶測は飛び交っていますが確かな情報はありません。こっそり撮影してSNSにupするような不屈な輩もいないようです。

このようなかたちで頑張っている人に対して、JOCが昭和54年から40年間も使い続けている「がんばれ!ニッポン!」をマネして「ガンバレ池江璃花子選手」と安直な言葉で応援して良いのか、と考えさせられます。ネットサーフィンしていたらこれぞ模範解答賞賛されたインタビューを見つけました。

あるフィギュアスケーターが、空港でいきなりマスコミに囲まれて、白血病を公表した池江選手についてマイクを向けられました。「何も知らないし、ぼくは発言をする権利はないと思います」というコメントで好感度マックスになったそうです。

池江 璃花子 (いけえりかこ 2000年7月生まれ) 東京都江戸川区出身の競泳選手。専門は自由形とバタフライ。現在、個人種目11個とリレー種目7個、計18種目の日本記録を保持している。所属するルネサンスのコーチ、三木二郎氏の母校、日本大学スポーツ科学部に4月から進学する。